

第 8 回
市民と市長のタウンミーティング
報 告 書

○期 日 平成 18 年 11 月 22 日

○会 場 けやきコミュニティセンター

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」、「双方向」で地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。この会は、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が会の企画・運営方法について協議し、協働して開催するもので、原則として議会月（3月、6月、9月、12月）を除く年8回開催し、2年間で市内のコミュニティセンターを一巡する予定です。

このたび、けやきコミュニティセンターで第8回「市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告します。

概 要

1. 日 時 平成18年11月22日(水)
午後6時30分～9時10分
2. 場 所 けやきコミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市・けやきコミュニティ協議会
4. 参加者数 77人
5. 主催側出席者 市長 邑上守正
けやきコミュニティ協議会代表 寺島芙美子
企画政策室長 南條和行
環境生活部長 長澤博暁
子ども家庭部長 筒井敏晴
都市整備部長 井上良一
6. 司 会 けやきコミュニティ協議会 村井寿夫
企画政策室市民活動センター所長 笹井 肇
7. 内 容
第1部 地域のまちづくりに関する課題を話し合う「わいわいディスカッション」を行った。
第2部 参加者にカードを配り、市政全般に関する意見等を記入していただいた。
そのカードを、第四期長期計画の施策の体系の分野(①健康・福祉、②子ども・教育、③緑・環境・市民生活、④都市基盤、⑤行・財政)に分類して模造紙に貼り出し、分野ごとに意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)第1部「わいわいディスカッション」(要旨)	3
・安心・安全なまちづくり	3
・ゴミ・環境を考えよう	5
・子どもから高齢者まで支えあうまちづくり	6
(3)第2部 市政全般についての意見交換(要旨)	10
①健康・福祉	10
・市長の発言	10
・健康づくりについて	10
②子ども・教育	10
・市長の発言	10
・むさしのミニタウンについて	12
・学童クラブについて	12
③緑・環境・市民生活	13
・市長の発言	13
・街路樹の管理について	15
・ごみの出し方の指導について	15
④都市基盤	16
・市長の発言	16
・中央図書館西側の歩道について	17
⑤行・財政	17
・市長の発言	17
・特別会計の審議について	19
・災害発生時の避難場所について	19
・若年層への施策について	19
(4)閉会のあいさつ	21
2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針	22
①健康・福祉	22

②子ども・教育.....	22
③緑・環境・市民生活.....	24
④都市基盤.....	28
⑤行・財政.....	31

— 付属資料 —

第8回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんばんは。今日は平日の夜ではありますが、「市民と市長のタウンミーティング」にお集まりいただきまして、ありがとうございました。

先ほど、市役所で会議をしていたら、11月22日は「いい夫婦の日」だということで、婚姻届が多いそうなんです。婚姻届をされる方もいらっしゃると思いますが、ご夫婦の皆さんは、夜帰りましたら親交を深めていただけたらなと思っております。

さて、私も昨年10月に市長になって1年と1カ月たちました。市民の皆さんの声を聞いて市政を進めていくためには、どんなやり方がいいのかなと検討しました。その結果、地域の皆さんと一緒に意見交換会をやろうじゃないかということでこの会が発足いたしました。ただ、やり方については、地域の皆さんと工夫しながら、一緒に進めていこうと、市役所が出過ぎない、市役所が一方的にやらないという姿勢をお願いをしてまいりました。以来、今日で8回目を数えます。けやきコミセンというのは、コミセンの中でも非常に先駆的な取り組みをなされているところでございまして、やり方もひょっとしたら今までのやり方と違うかもしれませんが、それも私は期待をしております。ぜひ皆さんにもいろんな意見をいただきたいですし、市から部長も数名参加しておりますので、場合によっては部長の話もちょっと聞いてみたいと思います。



今日は、皆さんと意義ある意見交換ができればと思っておりますが、これからスタートで、9時までというお約束の時間でございますので、その中では限られた意見交換しかできないかもしれません。皆さんもご存じだと思いますけれども、タウンミーティングの結果は、報告書という形でまとめております。今日この場では、全てのご意見に対して回答ができないかもしれませんが、出された意見は市役所に持ち帰って回答集を作っております。回答につきましては、大枠での話しかできないものもありますが、市役所としては市民の皆さんの声を聞きっぱなしにせず、何らかの形で返していこうという姿勢で報告書を作成しておりますので、楽しみにしていただきたいと思います。作成には2カ月程度かかりますので、今回の報告書は、新年のお年玉として皆さんのもとにお渡ししてまいります。これをきっかけとして、次回のタウンミーティングの時にはこれをひもとして、あのとき言ったことができてないぞ、あるいは、私から今日皆さんに逆にお願いすることもあるかもしれませんので、それがあんまり取り組まれてないじゃないかと、いろんなことを話し合う、まちづくりのきっかけとしてこれが活用されればと期待しております。

す。

今日のタウンミーティングに限らず、いろいろな点で市に対して要望をいただきたいし、またこの間、皆さんには市民会議等を含め、多方面にわたり参加をいただいておりますから、今後も皆さまと意見のキャッチボールをしながら、いいまちづくりを進めていきたいと思っております。

今日の開催に当たりましては、けやきコミュニティ協議会の皆さんにご協力いただき、本当にありがとうございました。

それでは、どうぞよろしく申し上げます。

【けやきコミュニティ協議会 代表】

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、タウンミーティングにお出かけいただきまして、本当にありがとうございます。



けやきコミセンも開館して17年になります。この間、皆様にはご協力・ご支援をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

私どもは、地域に愛されるコミセンを目指すとともに、私たちの住むこのまちが少しでも住みよい、良いまちになるよう、まちづくり活動にも力を入れてまいりました。おかげさまで地域にも知り合いが増え、あいさつをする人もたくさんできました。しかし、まだまだけやきを知らない人、けやきに来たことのない人が大勢いるかと思えます。こういう方たちとどのように関わっていくかが、けやきのこれからの課題になるかと思えます。今日のタウンミーティングは、私たちの住むまちについて、皆様といろいろ話し合いたい機会だと思っています。たくさんのご意見をいただきたいと考えておりますので、最後までよろしく願いいたします。

(2) 第1部「わいわいディスカッション」(要旨)

1. 安心・安全なまちづくり

【ご意見】

扶桑通りは、昔からの農道の特徴として道路がまっすぐになっている。そのため、通過交通が非常に激しく危ない。

また、前に舗装をしなおした際に、白線で歩車道を分けたため、より一層自動車が走りやすくなり、スピードが上がっている。

扶桑通りは、むしろまっすぐに快適に走れないような構造にしてしまったほうがよいのではないか。つまり、互い違いに植栽をうえて、曲線によって曲がりながら車が走るようにするべきと考える。

【ご意見】

成蹊大学の運動場のところでとまっている都市計画道路(武3・5・17)について、早期に地上部で通していただきたい。現状では、行き止まりの状態では機能を発揮していないが、この計画道路が千川上水にある都市計画道路(武3・1・12補2・2・9)とうまくリンクするのを待っている。この道路が早期に完成すれば、きっと扶桑通りの通過交通の件も完全に解決すると思うので、そのことについて市長の回答をいただきたい。



【ご意見】

成蹊通りについて、成蹊学園では、高校と中学を建て直すという話があるようだ。そういう機会をとらえて、ぜひ市の力で学園と話し合っていていただいて貫通させて欲しい。

【ご意見】

雨の日には、みそら歩道橋からムーバスを利用しているが、いつも成蹊学園の生徒がいっぱい乗っているため、3回も4回も乗れなくて結局歩いて吉祥寺まで行かなくてはならないことが多い。市から成蹊学園の学生に対し、五日市街道を走る一般の路線バスに乗るように働きかけてもらえれば、高齢者がムーバスを利用しやすくなると思う。

また、ムーバスの三鷹・吉祥寺間の新規路線については、平沼園前から税務署の方向へ抜けるように聞いたが、中町2丁目の人は、五日市街道まで出るのが大変なので、井の頭通り上で、成蹊通りと扶桑通りとの中間地点付近に停留所ができるとよいのではないかと。

【ご意見】

一人暮らしの世帯が非常に増えているので、何かあったときに即座に近所の世帯に通報できるようなベルなどの連絡手段を市で用意していただけないか。不幸な事件が私の近辺でも

起きているので、いざという時に近所で助け合えるようにして欲しい。

【ご意見】

北町の浸水について、昨年の9月に床上浸水したため、市の対策として青葉公園に200トン、第四小学校に500トンの貯留槽を作ってもらったが、それにもかかわらず今年の8月にも北町の一番低い地域で20センチの路面浸水があった。あふれた水量1万トンに対して、水槽の容量が非常に小さいように思うが、今後どのような対策を計画しているのかを伺いたい。

【司会】

「浸水対策」については大きな話なので、第2部で回答してもらいたいと思います（「浸水対策」の回答14ページを参照）。ここで、「扶桑通り」「ムーバス」「一人暮らしの安全」の三つの話題について、けやきコミセンの取り組みを紹介します。いままで、けやきでは成蹊大学のあるまちを考えようということで、大学と地域住民、市役所の三者で懇談会を3回開いています。その中で学園の塀の生垣化についても話し合っており、今、山桜通りのほうを生垣化するという計画が進んでいるようです。それと含めて、扶桑通りも将来生垣にして欲しいということで対話しています。また、前回は、市の担当者も同席し、実際にこのまち全体の道路がどうなっていくのかももう少し考えていきたいと思います。ということで話し合いました。まだまだ、これからも集いは続きますし、不便なのが良く、不便でないほうが良い人も、両方参加していますので、ぜひ皆様も参加してください。



【市長】

扶桑通りにつきましては、「人にやさしいみちづくり事業」として整備を進めています。幅員が狭いので、構造上歩道をつくることは難しいけれども、やはり歩行者の安全を守るために、歩行者が歩く部分を明確にしていかなければならないと考えています。場所によってはポール（ポールロード）を立てたらどうかという意見もありますので、それはまた地域の方と相談して進めていけたらと思います。

また、成蹊通りにつきましては、北側に伸びると北裏通りの方に抜けていくという計画です。事業の実施にあたり、成蹊学園にも再三協力を申し入れておりますが、基本的には、学園の中を通して欲しくないという強い意見があります。それでは、地下ではどうかということで市では案を用意していますので、成蹊学園に話をしていきたいと思っています。おそらく成蹊通りがつながりますと、幅員の狭い扶桑通りの通過車両が減りますので、周囲の道路環境も含めてもう少し検討していかなければならないと感じています。

ムーバス新規路線については、現在、主として御殿山地区の交通環境を改善することを目的としたルートを考えております。吉祥寺から三鷹へ向かう際には、主に井の頭通りを通るよう想定しておりますし、バス停の位置についてはまだ決まっておりませんが、原則として200m

間隔で設置しておりますので、中町2丁目にお住まいの方にとっても、割と近くにバス停ができるのではないかと考えております。

それから、「ムーバスに学生がいっぱい乗っていて、一般の方が利用できない」という意見については、実はここだけでなく武蔵境でも同じように課題となっております。バスの運営上は、なるべく多くの方に乗っていただきたいという面もございますが、地域の方やお年寄りを優先して欲しいということについて、大学等にも話をしていきたいと思っております。

ひとり暮らしの高齢者については、我々も安心・安全見守りネットワークというのを作っていく必要を感じています。その中で、ご意見をいただいたように、警報装置の導入などのアイデアはあると思っておりますので、ぜひこれからはそういう具体的なものを考えていけたらと思っております。

【司会】

1 つ目のテーマの安心・安全については、このくらいで切り上げようと思っておりますが、皆様のお手元に「住みよいまちづくりをすすめるけやきコミセンの活動」というのがございます。その中の「ナイトウォーキング」が安心・安全のまちづくりに関連しますので、簡単に説明いたします。

【けやきコミュニティ協議会(運営委員)】

ナイトウォーキングは毎月第1、第3火曜日の夜8時から、けやきコミセンに集まって防犯と健康づくりをかねて30分から1時間程度実施しています。参加人数は、少ないときは10名程度、多いときは20名程度いまして、コースを毎回変えております。ここにいらっしゃる方で参加できる方がいましたら、ぜひご参加ください。

2. ゴミ・環境を考えよう

【ご意見】

中野区では来年の4月から行政の古紙回収をストップする。これは、集団回収が地域の過半数に達したため、すべて集団回収として住民と業者の間で回収するとのこと。このことによって、行政も費用が1億3000万円浮く。この1億3000万円の一部を、さらに地域に還元して、地域活動をバックアップするということになるそう。武蔵野市においてもこのことが可能であると考え、ぜひ提起したいと思って本日のタウンミーティングに参加した。

【ご意見】

生ごみの堆肥化や、瀬戸物、割り箸のリサイクルに取り組んでいるが、ストックヤードが無いため困っている。先日も、クリーンセンター所長とストックヤードの確保に協力いただきたいと交渉したがなかなか難しいようだ。そこで、旧中央図書館跡地の物置を使わせていただきたい。前に、「市長と語る会」でも提案したが、教育委員会のものとのことで断られた。環境を考え、ぜひ縦割りでない対応をお



願いたい。

【市長】

皆さん、11月15日号の市報はご覧になったでしょうか。武蔵野市では、現在1日1人あたり763グラムのごみを排出しており、多摩地域の中でも多いほうになっています。そこで「ごみチャレンジ 700 グラム」をテーマに、ごみを減らそうというキャンペーンを実施しています。なかなか1日1人あたり50グラム減らそうといっても分かりづらいと思いますので、市報の説明の中で、ごみ 50 グラムはこのくらいですよと説明しています。ぜひ皆さんにも挑戦していただき、なるべく燃やすごみを少なくしてまいりたいと思います。

ストックヤードの確保に関するご意見も、リサイクルを推進する目的ですので、市の中でお貸ししても支障のない場所があれば検討してまいります。ただ、旧中央図書館のあり方につきましては、これから長期計画の見直しの中で大いに議論をしていただき、きちんと位置づけした上で再利用していきたいと考えています。

【環境生活部長】

集団回収につきましては、団体数、参加世帯数ともに平成16年度(147団体1万8,565世帯)から平成17年度(151団体1万8,854世帯)に増加しています。現在は、それぞれの地域の方にお願ひしてやっているところですが、今後どのような形でできるかなどの具体的な問題については、持ち帰り研究してまいります。

【司会】

けやきコミセン行っているリサイクルの取り組みについても紹介をお願いします。

【けやきコミュニティ協議会(運営委員)】

けやきコミセンではイベントが多いため、イベントで発生したごみを分別して排出するのが1つの大きな取り組みです。また、先ほどご意見をいただいたように、中古の陶磁器を回収し、製造元の多治見に送り返しています。割り箸のリサイクル・回収にも取り組んでおりますが、ストックヤードが無く苦慮しているという状況です。

それから、我々がもう少し地球温暖化について知らなければならないということで、毎月最終土曜日の夜に勉強会を始めております。

3. 子どもから高齢者まで支えあうまちづくり

【司会】

このテーマについては、けやきにおいても「けやき茶社」「むさしのミニタウン」「からだほぐしとお食事の会」「子育て井戸端会議」「地域通貨」など非常にたくさん取り組んでおりますが、先ほどの高齢化のお話も含めまして、心配事であるとか、地域の問題についてご意見をお願いします。

【ご意見】

旧中央図書館の東側に住んでいるが、私の家から見ると西側がずらっと大きな建物ばかり

になってしまっている。自分勝手なようだが、雑木林などにして、先ほどの意見のようにその一角をリサイクルのためのストックヤードにしてはどうか。

【市長】

旧中央図書館については、後ほど皆さんから意見をいただいて、それからまた議論しましょう。

【司会】

それでは、けやきの活動についての宣伝になってしまいますが、明日、地域通貨のイベントを実施しますので、当協議会で取り組んでいる地域通貨がどのようなものかについて協議会から説明をお願いします。

【けやきコミュニティ協議会(運営委員)】

地域通貨というものをご存知の方がどの程度いらっしゃるのかわかりませんが、地域通貨は地域の中を活性化させる道具です。お金ではありません。ですから利息などもつきません。それではどのように使うかという、「ありがとう」という気持ちを表現するために使ってもらえたらと思います。例えば、パソコンの使い方わからないことがあったときにちょっと教えてもらう、その時の助かったという気持ちとして渡したりします。家庭の中でも、子どもにお手伝いを頼んだときなどに使います。そこには何の対価もありませんが、人に、ありがとうという風にもらえたら嬉しいのではないかと思います。



明日の地域通貨のイベントは、「エト市場」といまして、先ほど出ましたナイトウォークなど地域の活動に参加してくださっている方にお渡ししている地域通貨(エト)を使ってもらうために、日用品や衣類などのバザーという形で実施します。

【ご意見】

エト通貨については、以前から関心を持っていた。例えば、お年寄りが階段を登るのをお手伝うとか、そういうところでもエト通貨を使うと良いと思う。地域通貨が広がると、助け合いが広がっていくと確信しているので、北町の人も見守って取り組みを広げていって欲しい。

【ご意見】

エトは、どのようにしたらもらえるのか。買うことも可能なのか。

【司会】

コミセンや地域活動の手伝いをさせていただいたときにお渡ししています。お金とは交換ができません。お金の価値とは換算したくないというのが私たちのこだわりです。

【市長】

何でもお金を払うのではなく、汗と心に対して流通するというのは魅力的ですね。今、地域通貨の取り組みは、けやきコミセンと南町コミセンで行われています。それを全市的に取り組

めたらよいのかとも思いますが、行政がやって成功した例がなかなか無いので、地域の皆さんが頑張ってくださいと、だんだん広がっていくのではないかという気がしております。それを支えていくような仕組みができないかなと考えていますので、本日お集まりの皆さんが、ぜひ各地域でそういう取り組みをしていただけたらと思います。

【ご意見】

けやきコミセンの和式のお手洗いについて、高齢者にとっては使うのが大変なので、手すりなどのつかまるものを設置していただきたい。

【ご意見】

北裏通りは、都市計画道路だが非常に歩道が狭く、そのうえ四中や四小に通う生徒・児童が多く通るので危ない。一度、市長にもじっくり歩いてみてもらいたい。

また、自動車の制限速度についても時速 30 キロ程度だったかと思うが、それをはるかに超えた速度で走っている。朝は、7 時くらいに都心に向かう建設関係の車が 60 キロ程度で走っている。それにもかかわらず武蔵野警察が取り締まりを行っているのを見たことがない。

以上から、子どもの安全を考えて、車道を 20 センチ詰めて歩道を拡張する、電柱などの歩道上の障害物を道路の片側に寄せる、などの対策をとってもらいと相当改善するので、検討していただきたい。

【ご意見】

集団回収に取り組んでいるが、市が実施する資源収集と、地域で行う集団回収とがあるため、だいぶ力がそがれている。他市では集団回収のみ実施というところもあるので、武蔵野市でもそのようにできないか。

また、廃棄物についても燃やしてエコセメントにすればよいというのではなく、脱焼却、脱廃棄という考えでいかないと先に進まないのではないか。

【けやきコミュニティ協議会(代表)】

先ほどのトイレの手すりについてですが、数年前に、どなたにもご利用しやすくするため、ある程度の手すりを設置しました。ただ、けやきコミセンのトイレは非常に狭いため、これ以上の手すりを付けるためには、トイレの数を3つから2つにするなどの方策を考えなければならない状況です。

今回、手すりについてご意見をいただいたことから、早急に状況を調べ、具体的にどのようにしたら良いかをうかがった上で、市に改良をお願いしたいと思います。

【市長】

北裏通りについては、確かに歩道が 1.2m 程度なので、並んで歩くには狭いですね。全体の道路幅がもう少しあると歩道の拡幅ができるのですが、現状では厳しい状況です。

また、歩道上の電柱につきましても難しい問題です。場合によっては、その沿線の皆さんにお願いして敷地内に移設するなどのケースもありえるのかもしれませんが。

それから、ごみの問題については、皆さんがいろいろ取り組みをなさっているものもあるので、

市としても皆さんの意見を聞きながら、「ごみの量を減らす」そして「ごみの焼却を減らす」という姿勢で取り組んでまいりたいと思います。いろいろな集団回収を推し進めていく、あるいは生ごみの堆肥化等のご提案をいただきながら、一緒に取り組んでいきましょう。

(3) 第2部 市政全般についての意見交換（要旨）

1. 健康・福祉

【市長】

地域福祉について、「お年寄りの見回りの問題をどう考えるか」とのことですが、今後、地域の福祉に関しては、地域社協にお願いする面が強くなっていくのではないかという気がしております。見守り、緊急時の通報など、地域のネットワークができればよいと思います。現在、市の内部でも、独居高齢者に関する課題を整理し始めておりますが、この検討の経過を地域の皆さんにお知らせしながら、課題の解決策を考えてまいりたいと思っております。

高齢者福祉については、「一人暮らしのお年寄りの住宅の問題」があげられています。市では、市営住宅を一定程度所有しておりますが、一方で、福祉型住宅の施策を進めておりますので、そちらをご利用いただければと思っております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 22 ページをご覧ください。)

1. 健康づくりについて

【発言意見】

私はコミセンの活動に参加しているが、興味のあることがたくさんあるため、心も体も快調で過ごしている。毎日の生活の中で、いろいろなことに関心を持つよう心がけることは、年をとっても健康で幸せに過ごすことにつながると思うので、皆さんにもそのような心がけを持っていただけたらと願っている。

【市長】

確かに、健康で長生きすることは、人生の基本ですね。ぜひ皆さんも健康づくりに挑戦していただきたいと思っております。

2. 子ども・教育

【市長】

保育園に関し、「保育園の数が足りないのではないか」という指摘をいただいております。現在は、残念ながら、入所を希望される方全員のご要望にお応えできていない状況です。4月時点の待機児は40数名、現在は63名ですが、4歳児・5歳児に関しては、ほぼ入所できています。この問題も、市で全て対応していくのかどうか、最近では社会的に育児休暇もかなり充実しているので、そういう施策との兼ね合いの下で、大いに議論する必要があると思えます。

学校教育について、教育委員会では、放課後か土曜日に、若干授業がわかりづらい子どもを集めて、補習のような形で指導することを検討しております。なるべくそれぞれの子に合った指導をしていきたいということでさまざまな取り組みを始めていますので、見守っていただき

たいと思います。

いじめの問題は、今、全国各地で議論が起こっています。武蔵野市でも教育委員会で対策を進めていますが、教育支援センターに相談窓口を設置し、いじめがあったらすぐ連絡してほしいと呼びかけています。同時に、各学校でもこの問題にきちんと取り組むために、この間、いろいろな会合を設けております。

「中学校の部活を活発化してほしい」とのご意見が出ています。私も、子ども達には大いに部活で頑張ってもらいたいと思いますが、中学生の生徒数が減ってきており、クラブとして成立しないという部分もございます。また、生徒数の減少にあわせて、先生の数も減り、指導者がいないという実態もございます。そこで、市では、この秋から成蹊大学の学生さんをお願いして、運動部を中心に指導をお願いしております。今年度は幾つかの中学校に限っての実施ですが、この取り組みが好評であれば、来年度には全中学校に広めていこう検討しております。

ちなみに、武蔵野市内では、吹奏楽部の活動が非常に盛んです。皆様もご存じでしょうが、幾つかの小学校では、優れた演奏活動をしており、先週も第三小学校が全国大会に出場して、優秀賞を受賞しました。私も前日に応援に行きましたが、本当にこれが小学生かと思うようなすばらしい演奏でした。そういう活動に対して、市としても応援していきたいと思っております。

中学校給食については、現在、検討委員会にて検討中です。給食をやるからには、きちんとしたものをやりたいと考えております。委員会での検討結果を踏まえて試行し、子ども達の声も含めて意見を聞きながら、よい給食の実現を図ってまいります。

子どもたちの居場所についても課題になっています。特に中高生は体も大きく、コミセンに行ってもなかなか歓迎されないことがあります。中高生の居場所に関しては、武蔵境駅南口に予定している「武蔵野プレイス(仮称)」

内に、青少年の集う場を確保していこうという計画があります。ただ、全市民を対象とした施設ではありますが、西部地域に建設されますので、全市的に青少年の居場所づくりを考えていかなければならないという思いがあります。かと言って、大人が一方的に居場所をつくり過ぎると、かえって寄りつかないと思いますので、あまり作り過ぎないような形で何か活動ができるような拠点を考えていきたいと思っております。また、「キャッチボールのできる広場をつかってほしい」というご要望が出ていますが、キャッチボールに限らず、ボール遊びのできる場所は少ないです。私が子どもの頃には、家の前の道で野球の練習もできましたが、今はなかなかそういきません。現在、境地区にございます武蔵川公園というところで、来年の3月まで暫定的に、キャッチボールのできる公園を試行しています。ここでは、ドッグランも試行中ですが、試行の



結果を踏まえて、今後のあり方を考えていきたいと思えます。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 22 ページをご覧ください。)

1. むさしのミニタウンについて

【発言意見】

来年3月に、大野田小学校を会場にして「むさしのミニタウン」という取り組みを行う予定であり、今、子どもたちと準備している。これは、子どもたち自身が、まちのあり方を考えながら、まちを作り上げていくというイベントである。今のところ、この地域の子どもたちに声をかけているが、当日は、市内の子どもたちにも参加してもらいたいと考えている。詳細については、これから決めていくが、全小学校にチラシを配って参加を呼びかけていきたい。

【市長】

これは初めての取り組みなので、皆さんにはなじみがないかもしれませんが、子どもが主体となってまちを考え、遊びながら仕事や社会、政治の仕組み、コミュニケーションを学ぶというイベントです。私も何らかの形で応援したいと考えておりますが、皆さんにも、ぜひ注目していただければと思います。

2. 学童クラブについて

【発言意見】

私は以前に学童クラブの指導員をやっていたが、学童クラブは、ただ子どもにおやつを食べさせて帰すという場所ではなく、親御さんに代わって子どもの心を読みながら、生活面の指導もする場所だと認識している。私が指導員だった頃には、三多摩地区で学習会を開催し、指導員同士で、あるいは講師を交えて勉強していたが、最近では、指導員の勉強が足りないという話も聞いている。指導員には、きちんと子どもを預かるために、また子どもたちに次の日も喜んで来てもらえるようなクラブにするために、よく勉強してほしい。

【市長】

学童クラブについては、保護者の皆様からいろいろなご要望をいただいております。それらにお応えするための対策の1つとして、指導員の研修も必要ではないかと議論しております。詳細については、子ども家庭部長から説明いたします。

【子ども家庭部長】

学童クラブの指導員に関しては、議会等でもご指摘をいただいておりますが、特に、指導員の研修については、今後充実する方向で検討しております。また、障害児をお預かりしているクラブもございますので、障害児への指導に関しては、ただ研修を受けるだけでなく、実際にそういうお子さんたちを間近に見ながら、指導員を指導してくださる先生方をお招きしてまいりたいと考えております。

3. 緑・環境・市民生活

【市長】

緑については、「落ち葉の問題」があがっています。緑はいいけれど落ち葉の掃除は大変ですね。今度の日曜日、11月26日は市内一斉清掃を行いますので、皆さんにもご参加いただければと思います。落ち葉が大変というご意見に対する解決策はなかなかございません。市が業者に落ち葉清掃を委託するといたしますと、お金がかかるということもございますので、皆様には、家の前や、あるいはもう少し広い地域の落ち葉掃きをお願いしたいと思います。落ち葉を集めて堆肥化するという取り組みもありますので、こちらにもご協力をお願いいたします。また、「街路樹の手入れが不十分」「市有地の高木が無残に切られたが、何の説明もない」といったご指摘が出ております。「中央通りの桜」については、私も非常に心配しております。私は、この地域で生まれ育ち、東京オリンピックの際には、聖火ランナーが桜並木のところを走ったのを見に行きました。その当時からの桜並木です。桜の寿命は50～60年ですが、中央通りの桜の樹齢ももう55年くらいです。歩道や車道にも張り出しており、いつ朽ちたり折れたりするかわからない状況ですので、樹木診断を実施する計画を立てております。倒れそうだと言われた木については、少し整備をしてまいりたいと思います。

市有地の木の管理に関しては、都市整備部長から説明いたします。

【都市整備部長】

ご指摘の場所は、吉祥寺北町四丁目11街区内の、土地開発公社が所有している土地のことと存じます。この木に関しては、近隣にお住まいの皆様へ説明をする機会を設けずに剪定を行ったため、数件お問い合わせがあり、大変申し訳なく思っております。現在、土地開発公社が用地の管理を、また市の緑化環境センターが樹木の管理をそれぞれ行っておりますが、お問い合わせいただいた方に対しては、経過と今後の対応策について協議させていただきました。今後、東側の土地についても購入する予定としておりますが、この部分の樹木についても剪定することになると思います。この土地の東側、また南側にお住まいの方々には、落ち葉等の清掃にご協力いただき感謝しております。樹木の剪定に関しては、今後、近隣の皆様のご理解をいただきながら、適正管理に努めてまいりたいと思います。

【市長】

ごみの問題については、先ほども少し説明いたしましたが、「燃やさないごみの日を月1回にしてはどうですか」というご意見が出ています。燃やさないごみは量が減っています。収集回数を増やすと、比例してごみの量が増えるという状況がございます。また、収集日を減らすと、なぜ収集しないのかというご意見もでるかと思いますが、そのあたりのバランスを考えながら今後研究してまいります。また、「犬のふんを落とさないように」とのご指摘がございます。飼い主の皆様には、マナーを守り、きちんとふんを拾っていただくようお願いいたします。

防犯に関しては、「中央図書館前の広場の電灯を明るく、毎晩点けてほしい」とのご意見が出ています。市では、街路灯照明度アップ事業を3ヵ年かけて取り組んでまいりました。吉祥寺北町も昨年度実施して、かなり明るくなっているとは思いますが、暗くて危険な雰囲気

あれば、再度考えたいと思います。

浸水対策として、昨年度から今年度にかけて、短期的な取り組みとして、四小や青葉公園に貯水槽を設置しました。さらに全体的な考え方として、雨水をどう流すか、いかに浸透させるかという取り組みを進めてまいりたいと思いますが、都市整備部長より、考え方を説明いたします。

【都市整備部長】

浸水対策事業については、短期・中期・長期それぞれの取り組みを検討しております。実施できるものからやるということで、今年度は青葉小路公園に200トン、第四小学校に500トンの貯留槽を設置いたしました。また、市内の下水道処理について、吉祥寺北町地区を含む善福寺川排水区は約641ヘクタールございますが、来年度には、この排水区の上流部分にあたる学校の校庭に、約500トン規模の貯留槽を設置する計画です。

また、以前の大雨の際には、汚水が、下水から汚水ますを通過して皆さんのご家庭へと逆流したこともございますので、取り付け管と汚水ますの境に、汚水逆流防止弁をつけることとしました。この周辺の地区を対象に、現在施工中です。

さらに現在、吉祥寺北町で浸水の起こりやすい地域を対象に、道路工事を行っております。これまで使用していたアスファルトは、水が浸透しないものでした。また、透水性舗装というものもございますが、今までは歩道に使用するのみで、車道には使っておりませんでした。今年度、この透水性舗装を試験的に施工していますので、これらの結果を見ながら、浸水発生の



防止策を進めてまいりたいと存じます。

【市長】

市民活動に関しては、団塊世代の方が今後退職されるにあたり、いろいろな面で力をお持ちの方がいらっしゃいますので、ぜひ地域やコミセンでも、積極的に受け入れ体制を考えていただきたいと思います。おそらく団塊の世代の方は、地域になじみがなく、コミセンに来たがらない方もいらっしゃるかも

しませんが、けやきコミセンではいろいろな活動をされていらっしゃるのです、退職された方を巻き込むような取り組みもご検討いただきたいと思います。

コミセンが地域を超えたつながりを持つことに対する考え方については、担当の市民活動センター所長よりお答えいたします。

【市民活動センター所長】

コミュニティ研究連絡会では、コミセンのエリアを超えた連携が必要な課題に対応するために、ネットワーク補助金という制度を設け、必要な経費については一定の補助金を出しております。例えば現在、市内の東部地区では、外環道路の課題に関して、吉祥寺東、南町、本宿、本町の4コミセンが連携を取っております。

また、井之頭小学校の隣にありました泉幼稚園が廃園になりましたが、その跡地をめぐり、御殿山、吉祥寺西、中央コミセンの3館が連携して、跡地利用を考えております。コミセン同士が、それぞれの地域の課題や、広域的な課題の解決に向けて連携していくことは必要だと思います。ただ、武蔵野市の場合、小学校区、地域社協のエリア、コミセンのエリアが入り組んでいる部分があり、工夫が必要だと考えております。

また、団塊世代の対策としては、来年の3月に、団塊世代の皆さんを対象として「マスターズ武蔵野市民フォーラム」を開催いたします。還暦のことを「華甲」とも言いますが、現在、団塊世代の「華甲(還暦)夢企画」を募集しています。団塊の世代の方のお知恵を、まちづくりに活かしていけるような企画があれば、ご提案をいただきたいと思っております。

【市長】

生涯学習に関しては、「文化会館の催しは、今は専門性の高いものが多いが、もう少し一般的な、民謡や踊り、津軽三味線などもお願いしたい」とのことですので、ご要望については文化事業団等に伝えてまいります。「市民」と名のつく施設であり、やはり市民の方が利用されるのが第一義ではないかと思っておりますので、今後の催しについては、大いに研究してまいりたいと存じます。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 24 ページをご覧ください。)

1. 街路樹の管理について

【発言意見】

市内の街路樹の中には、気の毒な姿になっているものがある。成蹊通りのケヤキなども、木が成長するにつれて、縁石が持ち上がって割れている。最初に木を植える段階から、樹木の成長を念頭におき、歩道のあり方を工夫するということではできないのか。緑による恩恵はたくさんあるのに、樹木が成長したら伐採するというような、緑の寿命を縮める環境になっているのは残念である。

【市長】

ご指摘のとおり、緑というのは成長しますから、それを予測して計画的に植えていくことが大事ですし、適正な維持管理も必要です。成長したそのままの姿というのは、見ごたえがあるかもしれませんが、街路樹の場合には、きちんと手入れすることが大切だと思います。

2. ごみの出し方の指導について

【発言意見】

家族で暮らしている人や高齢者は、ごみの分別や出し方に関心を持っている人が多いが、アパート住まいの独身者に、ごみ出しのルールを徹底してもらうのは難しいと感じている。市では、このような人たちに対し、どのようにPR、指導をしているのか。

【市長】

確かに、ご家族でお住まいの方は、市報などをよくご覧いただき、協力してくださる方が多いのですが、単身者は、市政にもあまり興味がなく、ごみの出し方もわからないという方が多いようです。市では、単身者に直接指導するのではなく、お住まいのマンションの管理人などを通して指導しています。

【環境生活部長】

ごみ有料化開始前の平成16年8月時点では、集合住宅への指導件数は約200件でしたが、直近では、88件に減っております。

4. 都市基盤

【市長】

自転車問題について、「自転車の撤去にかかるコストが1台4,000円とは高すぎる」というご意見が出ていますが、自転車を撤去する作業に関しては、撤去した車を運搬する費用や、



保管場所の管理運営費用などを全て考慮すると、このくらいのコストがかかります。皆様にもこの点を認識いただいて、違法駐輪のないようにお願いしたいと思います。

自転車に関しては、駐輪場の設置と暴走自転車対策の2点が大きな課題だと認識しております。駐輪場については、スペースがないと設置も難しいですが、例えば吉祥寺では、利用できるような土地がないということ

もありますので、地下化を含めた重層的な駐輪場のあり方について検討したいと思っております。暴走自転車についても、どうしたら利用者にマナーを守ってもらえるかを検討するために、委員会を設置しました。この委員会では、若い方の視点で対策を考えてもらおうということで、高校生や大学生といった世代の方にも委員に入らせていただいております。ある程度提言がまとまった段階で、市民の皆さんにも諮っていききたいと思います。武蔵野市は平坦な土地なので、自転車を利用しやすい場所です。自転車に関する課題はございますが、だから自転車の利用をやめろというのではなく、自転車が歩行者と共存するまち、自転車を気持ちよく利用できるまちを目指していきたいと思っております。

道路整備については、市としては、やみくもに道路を広げるということではなく、きちんとした都市計画を考え、その中でそれぞれの道路の幅を決めて整備していますので、どうしても時間がかかります。武蔵野市の場合、都市計画道路の整備率は周辺市と比較してもかなり高く、市施行の都市計画道路だと75%ですが、都市計画道路として定めたものは、できるだけ早期に実現していくことが必要だと思います。

上下水道に関して、「武蔵野の水はおいしい」とのご意見が出ています。ご存知のとおり、武蔵野市の水道水は、深井戸からくみ上げた地下水が約7割含まれています。地下水には天

然のミネラル分がたくさん含まれているため、武蔵野の水はおいしいと言われております。何とかこれを守っていきたいと考えております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 28 ページをご覧ください。)

1. 中央図書館西側の歩道について

【発言意見】

中央図書館西側の歩道は、自転車同士、あるいは乳母車と自転車がすれ違う時など、乗ったままでは通れないほどの狭さで不自然に曲がっており、危険を感じている。ぜひ善処していただきたい。

【市長】

私は、ご指摘の道路をよく歩いていますが、課題があるとは感じていませんでした。都市整備部長から現状を説明いたします。

【都市整備部長】

ご指摘の道路は、景観に配慮して、電柱を地中化しております。確かに歩道の部分は2m程度ですので、自転車と歩行者が一緒になると危ないですね。先ほどの市長の説明にもありましたように、自転車の乗り方やマナーについては、現在検討中です。また、市としては、歩道上の電柱をなくしていきたいと考えておりますが、市内全域で、この道路と同様に地下へ埋設するという方法をとるといたしますと、非常に費用がかかりますので、民地側に電柱を移設するという形で、皆様のご協力をいただければと思います。電柱をなくすために、できれば一定のモデル地区を設け、実施可能なところから進めたいと考えておりますが、今後の課題として検討してまいりたいと思います。

5. 行・財政

【市長】

健全な財政運営に関しては、「予算の取り合いをやめて、税金を節約してほしい」とのご意見があります。確かに、税として集めたお金をどうやって使い切るかという発想になりがちですが、逆に、必要な施策はどういうものか、それはどの程度の予算で実施できるかを算定し、それに応じる額だけ税金を集めるということを考えてもよいかもしれません。現在、さまざまな形でいただいたご要望を、来年度予算に反映させるよう考えておりますが、ご要望が多くて、全てにお応えすることができないために、予算内に収めるよう事業を取捨選択するという作業になっております。必要最小限の事業について、必要最小限の税金をいただくという考えも大事だと思っておりますが、今後さらに支出を抑えていくという姿勢で予算編成を行ってまいります。

市の借金額について質問が出ていますが、市債という、市の借金そのものは現在 273 億円で、比較的健全な範囲に入っております。だからといって、どんどん増やすということではなく、この程度が限界として考えていきたいと思っております。

税金問題について、私は、昨年の市長選挙の際に、固定資産税あるいは都市計画税を減免するという公約をしております。現在、どのような形で固定資産税の減免ができるか検討中です。特に、市内の商業施設、商業用地、事業所用地に関して、中小企業の方が苦勞されているということもございますので、そういう方に対しても減税的な措置をとれるか研究しております。庁内の研究グループで、検討材料を整理しておりますので、今年度中に一定程度まとめて、具体的な検討に入りたいと考えております。

市民参加について、「出された意見等を長期計画に反映させるだけでなく、すぐやる決意も示していただきたい。」とのことですが、当然、今日いただいたご意見の中でも、すぐにできることは早急に実施いたしますが、調整計画策定の中で扱うべき案件については、そちらで検討してまいります。

タウンミーティングに関して「福祉のテーマに特化して開催してほしい」とのご意見をいただきました。今日のタウンミーティングは、特に課題を限定してはいませんが、当然、何かテーマを絞ってタウンミーティングをやってもいいのではないかと考えています。また、「参加者の平均年齢が高すぎる」とのご指摘については、若い人を引っ張り込む工夫を、皆様にお願ひできたらと思います。

歴史資料館について、「中島飛行機地下壕を公開する」という方法をご提案いただいています。中島飛行機工場は、当時の優れた技術を持っていましたが、それを軍事的な点で利用していたことは事実です。現在の武蔵野市は、武器の代わりに平和を作り出していくという姿勢を示してまいりたいと思っておりますが、若い世代が武蔵野の歴史について学ぶ機会は少ないという気がしています。今年の夏には、中島飛行機工場の歴史に関する写真展などを開催しましたが、中島飛行機工場も含めた地域のさまざまな歴史を、子ども達にも伝えていきたいし、伝えていくことが我々の世代の役目だと思っております。

旧中央図書館の利用について、いろいろなアイデアが出ています。吉祥寺北町にお住まいの方は、この建物を何かに利用したいというご意見をお持ちの方が多くいます。私も子どもの頃に、旧中央図書館を愛用しており、思い出深い建物なのですが、かなり老朽化しているので、たぶんそのままでは使えません。かといって、耐震補強をしてまで使う施設かどうかということもありますので、現在行っている長期計画の見直しの中で、大いにご意見をいただき、方向性を定めてまいりたいと思っております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 31 ページをご覧ください。)



1. 特別会計の審議について

【発言意見】

一般会計の予算に関しては、市議会議員の目も届くと思うが、特別会計の予算については、現状では、あまり目が行き届いていないという印象を受ける。これは議会で審議されているのか。

【市長】

特別会計予算には、例えば下水道事業、国民健康保険事業、老人保健、介護保険事業などが含まれますが、これらについても、議会で審議していただいております。

2. 災害発生時の避難場所について

【発言意見】

私は常々、自宅にいる時に災害が発生したら、近くの公園に避難しようと考えているが、吉祥寺あたりの繁華街での災害発生時には、どこに逃げればいいのか心配である。吉祥寺近辺には、広いお寺や井の頭公園もあるが、大災害が起こった時には、瓦礫等でそこにたどり着くのも難しいように思う。

【市長】

確かに吉祥寺などを歩いていると、いざ地震の時にはどうしたらよいかと大変不安ですね。基本的には、各大型店舗につきましては、非常時の対策をきちんと考えていまして、お客様の誘導を第一優先でやっていただくことになっております。吉祥寺近辺での広域避難場所としては井の頭公園がありますが、災害時には、そちらに向かうのが適切かどうかの状況判断が必要になりますね。市としても、そのような際には、情報を流しながら、総力を挙げて皆様の安全を守りたいと思います。ただ、地域でできることは、ぜひ地域で取り組んでいただきたい。安全確保や避難誘導についても、地域の皆さん方で、日頃からの取り組みをお願いします。いざという時には、地域の皆さんと市とで、一緒に地域を守っていきたいと思います。

3. 若年層への施策について

【発言意見】

先ほど、タウンミーティング出席者の平均年齢が高いという意見が出ていたが、年代別の人数という点で比較した場合、この場の出席者と市全体とでは、人数の割合が全く違うと思う。武蔵野市は、若者に人気のある土地であり、若い人が多く住んでいるはずだが、タウンミーティングのような場に若者が出席しないと、若い方への施策がともしれば遅れがちになってしまう。今日の会には、あまり若年層の参加が見られなかったが、市の人口に占める若年層の割合をよく考えながら、若年層が市に何を望んでいるのかを見極め、施策をきちんととってもらいたい。

【市長】

このけやきコミセンでは、たくさんの若者が関わって、いろいろなイベントをされています。お

そらく、明日のイベントも、多くの学生さんが参加されるものと思います。市役所でも、地域に負けないくらい若者に参加してもらおうという気持ちから、いろいろな取り組みを始めました。地域の皆さんには、今後とも、若者が地域活動に加われるような工夫をしていただきたいと思います。

(4) 閉会のあいさつ

【けやきコミュニティ協議会 代表】

皆様、今日は本当に貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございます。皆様のご意見について、行政でできることはしっかりきっちりやっていただき、また、けやきでもどのようなことができるか、皆さんと考えながらまちづくりに役立てていきたいと思っております。

そして、けやきだけではまちづくりはできないので、ぜひ地域の皆さんに参加していただき、ともに知恵と工夫を出し合いながら、このまちをいいまちにしていきたいと考えております。このまちが武蔵野のモデル地域となるような、素敵なまちになればいいなという夢を、みんなで語り合っております。(拍手)

そのようなまちになるよう、私たちもこれから地域の核として頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも一層よろしくお願いいたします。

それから、今日チラシで配りましたけやきの活動に関しまして、ご興味のある方は、ぜひ参加していただきたいと思っております。本日はご参加いただき、ありがとうございました。(拍手)



【市 長】

ありがとうございました。

実は、この北町というのは、私が生まれ育ったまちなんですね。先ほど話題にのぼりました、市有地の樹木は、子どものころから見ている樹木なんですよ。だから、切られたという悲しみは、私も非常に強く感じます。ただ、必要な維持管理はしないといけないということがあります。思い出深き吉祥寺北町であります、やはりけやきコミセンさんが非常に頑張られて、この地域の拠点になっているのかなと嬉しく思います。今日のこの場は、若い方が参加しづらい時間帯だったかもしれませんが、日ごろはもっともっと若者でにぎわうけやきコミセンでありますので、皆様にもご了解いただきたいなと思っております。



今日出された意見について、実はあまり丁寧に回答できなかった面もあります。それについては、市役所に持ち帰りましてきちんとした回答集としてまた皆さんにお戻しすることをお約束いたします。これからまた意見交換のキャッチボールをしていいまちを一緒につくっていきましょう。本日は、ありがとうございました。(拍手)

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針

①健康・福祉

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
地域福祉	1	大野田福祉の会で度々地域のお年寄りの見回り(見守り)の問題の取り組み、いかにあるべきか議論になるのですが、どのようになっていく(していく)ことが望ましいとお考えでしょうか？	地域福祉の大きな課題のひとつが「孤立」の予防です。市内13の地域社協に基本事業としてお願いしているのが「安心助け合いネットワーク」づくりです。これは高齢者等の安否確認という意味での見守りだけでなく、地域社会から孤立することのないよう声掛けを行っていかうとするもので、共助による地域福祉の基盤となるものと考えています。
	2	武蔵野市の福祉を、市民力も加え、どう組み立てるか。特化したタウンミーティングを持ってほしい。	地域福祉という考え方の基本は、福祉を行政だけの仕事ととらえるのではなく、地域の住民、ボランティア、NPO、民間事業所、公的機関、何よりもハンディキャップをお持ちの方自身などが福祉の担い手であるという考え方に立つものです。そのような意味で、市民の皆さんからのご意見をいただきながら、武蔵野市の福祉について一緒に考えていきたいと思ひます。現在の各コミュニティ協議会と市の共催によるタウンミーティングは、地域の課題や市政全般についての意見交換という形式で実施していますが、今後、ご要望があれば特定の課題に絞ったテーマ別のタウンミーティングの開催も検討したいと思ひます。
高齢者福祉	1	高齢者(単身向け)住宅を増やすこと。各世代が利用することができるレストラン(市役所の食堂みたいなもの)を同じ建物内に作ったら、世代間交流ができると思ひます。	本市では、住宅に困っている高齢者の方々に、地域で安心して住み続けられるよう福祉型住宅を提供しており、市が管理する166戸に加え、都営住宅が30戸あります。また、一部の住宅では、高齢者の方だけではなく障害者・母子世帯が共に居住する福祉型共同住宅があり、そこでは建物内の食堂で希望者に対し、有料で食事を提供しています。
健康増進	1	健康は本人の心がけしたい。健康増進は福祉の基本。日本一のピンコロ(ピンピンコロリ)市をめざせ。	ご指摘のとおり自分の健康は自分で守るのが健康づくりの基本です。自分ひとりで健康を守り続けるのは大変なことです。市では健康づくり支援センターを設置し、在宅福祉施策と連携しながら、介護予防のための支援を行っています。

②子ども・教育

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	1	むさしのミニタウン(来年3月24、25日)開催を全市でできるようなイベントにいつかできるといいと思ひます。	子どもたちが企画段階から取り組む事業はあまり無かったと思ひますので、注目しています。3月開催の際には、見学させていただき、今後市としてどのような支援ができるか研究していきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
保育園	1	保育園の数が足りないのではないかと思います。入りたい子供が入れないとのこと です。	本市には、市が財政負担をしている保育施設として認可保育園14園・東京都認証保育所4園・保育室1室・家庭福祉員(保育ママ)6名があります。平成18年4月における認可保育園の待機児童は42名ですが、その他の保育施設には年度前半は空きがある施設が多数存在する状況です。また、平成18年9月には東京都認証保育所が1園新設されました。今後とも状況等を勘案しながら検討していきたいと存じます。
小・中学校教育	1	塾に行かなくても学校だけでいいような補習など、講師を導入しての指導など行なってほしいです。	本市では、現在、市立小中学校の学力向上の取り組みを支援するため、学校と協力し、平日の放課後や土曜日などに、市の学習指導員を派遣し、希望する子どもたちに対して、「学習支援教室」を実施し、授業内容に関する補足的な学習や学習相談を行っております。
	2	教育イジメ防止と対策	本市では、現在、いじめの早期発見・早期対応に向けて、教育支援センターによる平日夜間の「いじめ特別電話相談窓口」を継続したり、地域や関係機関等の方々と交えた全市的な「いじめ緊急対策会議」を実施するなど、学校への支援体制の強化に努めております。
	3	中学校での部活動は、先生のボランティアによるところが大きい。コーチなどを地域の有志や学生などを有償ボランティアでやっていただけるような制度導入をお願いしたい。先生の転校で廃部に追い込まれた部活をいくつも知っています。子供がかわいそうです。	本市ではこれまでも、地域やスポーツ団体関係者等からなる外部指導員のリストを作成し各学校に提供するなど、部活動へのサポート体制の強化に努めておりますが、今後は、近隣の大学とも積極的に連携し、外部指導員の一層の活用を図ってまいります。
	4	大野田小学校 じゅうたんの掃除はこどもには難しいようです。掃除機は力の弱いものが2台！ちょっと気になります。	タイルカーペット掃除のマニュアルを学校に用意しています。掃除機の能力については、使い勝手も考慮して機種を選定しておりますが、今後、更新の時には、吸引力も考慮して機種を選定します。
	5	第一小学校のトイレのリフォームと全体のクリーニング。美術室や音楽室の天井隅や体育館のかけの部分は生徒では無理です。ぜんそくのもとです。	現在、第一小学校からは、トイレの不具合等は特になく、児童のトイレ使用のマナーは大変良いと聞いておりますが、トイレや内装の改修は、市内小中学校全体で計画的に行ってまいります。天井など高い所の清掃は、学校職員が行っていますが、ガラス清掃などの危険を伴うものは外部に委託しています。
	6	第一中学校に吹奏楽部を作ってください。一小でがんばってもそれきりになってしまいます。	部活動の設置につきましては、学校の指導体制や指導者の確保、活動場所などの諸条件を勘案した上で、学校長が判断し決定するものであります。今後、教育委員会としましても、学校と十分に連絡を取り合い、一中吹奏楽部の新規設置の可能性について研究してまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
中学校給食	1	給食よろしくお願ひいたします。	
	2	私は給食課に16年たずさわって来ました。その頃から中学校給食の話が何回も父母の間から話が出ています。孫も近々中学生になるので何とか工夫して、1日も早く実現お願ひします。(場所、人数のことで話が進まなかったようなことであつたと思います)	現在、中学校給食検討委員会で、中学生にとって望ましい給食のあり方などを検討いただいています。家庭の役割、献立、調理のあり方等も検討されています。その検討内容などをもとにして、中学校給食実施計画づくりを目指します。
青少年施策	1	境に住んで3年目になりますが、初めてコミセンを利用して、タウンミーティングというものを体験しました。まだまだ若者が参加して高齢化に対し、また、衰退する社会経済に対し、又、衰弱した教育に対し、盛んな議論をするタウンミーティングにするために、市、行政が若者にどんどん問いかけていかなくてはますます老齢化が進むばかり。安全は安心は生まれません。	市としても、様々な市政の課題について、若い世代の参加の工夫を進めています。例えば、暴走自転車について、どうしたら利用者にマナーを守ってもらえるかを検討するために、委員会を設置していますが、この委員会では、若い方の視点で対策を考えてもらおうということで、高校生や大学生といった世代の方にも委員に入らせていただいております。また、行政だけでなく、地域の活動などに若い人たちを巻き込む工夫を、皆様にもお願ひできたらと思います。
	2	こども達(小学生)の野球、キャッチボールのできるような広場を作ってほしい。	バットや硬いボールを使った野球やキャッチボールのできる専用の公園をつくることは難しいと思いますが、吉祥寺南町5丁目高架下の「東部スポーツ広場」や、市内の広場のある公園では(硬いボールを使わない)キャッチボール程度であれば原則禁止しておりません。他の利用者に配慮してご使用ください。
	3	中学生、高校生が自分達で活動ができる場所を。	現在市内に中高生の居場所として特化した施設はありませんが、今後、武蔵境駅南口に建設を計画している武蔵野プレイス(仮称)に、音楽スタジオ、多目的スタジオなどを設け、中高生の居場所としての機能を持たせていく予定です。
	4	次代の武蔵野を担う若者の居場所、役割、夢をどう考えているか。	中高生は勉強、部活動と忙しい時期かと思いますが、仲間同士で活動できる場所は必要だと思います。現在計画している武蔵野プレイス(仮称)には、音楽スタジオ、多目的スタジオ等を整備し、それらの機能を持たせていく予定です。また、次代を担う若者には、大人社会に触れ社会性を養うことや、地域活動にも参加すること等が必要かと思っています。市ではこれらの活動の支援をしていきたいと考えております。

③緑・環境・市民生活

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	1	燃やさないゴミの日を月に1度にしてはどうですか。北町の日水曜日のゴミです。	現在、燃やさないごみは毎週収集しております。有料化・戸別収集を実施して2年経過しましたが、燃やさないごみは大幅に減少しておりますので、平成20年度からの一般廃棄物処理基本計画を策定する時点で検討してまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	2	ゴムの減量について ダイオキシンが発生しないような高性能な家庭用の焼却炉があると思います。そのようなものに補助金を出して、家庭で焼却できるものは焼却するというのはいかがでしょう。	廃棄物処理法の改正により、次の基準を満たしていない焼却炉は使用できなくなっております。①ごみを燃焼室で800度以上で燃焼できること。②外気と遮断された状態でごみを燃焼室に投入できること。③燃焼室の温度測定ができること。④助燃装置があること。⑤焼却に必需な空気の通風が行われること。現在この条件を満たす焼却炉が販売されておりますが、高価(40万～100万)であり一般家庭に普及するかどうかは疑問です。普及状況や大気汚染防止の観点から今後慎重に検討してまいります。
	3	犬のふんは道路に直接落とさないようにしていただきたい。簡単にできることでしょうか。	ペットも人と共に生活していく上で、適切なしつけが必要なのはいうまでもありません。東京都の「動物の愛護及び管理に関する条例」では「適切なしつけを施すこと」等についての遵守事項が義務付けられておりますが、罰則規定は設けられておりません。したがって、現状では飼い主の方々に対し、「人と動物との調和の取れた、人に迷惑をかけないような飼育」についての普及啓発活動を保健所と連携しつつ引き続き実施しております。具体的には、「ふんの始末は飼い主の責任です」としたステッカーやパンフレットなどを配布し、飼い主のモラルの向上を呼びかけています。ご希望の場合は保健推進課においでください。
環境	1	環境(緑) 成蹊通りのけやき落ち葉の件(けやき並木の枝切り)	成蹊通りのケヤキは市で管理しており、また、成蹊学園内のケヤキ並木は成蹊学園が管理しております。今の季節、ケヤキだけに限らず、落葉樹の落ち葉の掃除は、市でも行っていますが、近隣住民の方々にご協力をいただかないと対応できないと認識しています。また、市としては、掃いていただいた落ち葉をリサイクルする循環システムを確立していくことが必要であると考えています。今後ともご協力をお願いします。 市の管理するケヤキについては、剪定、枯れ枝除去等の作業を行い、適正に管理していきたいと思っております。成蹊学園のケヤキについては、成蹊学園に申し入れを行いたいと思っております。
緑	1	市内の緑比率75%は民有によると聞いています。地道に緑を守る市民のために季節の剪定、堆肥の作り方、ベランダで作れるハーブ、宿根草等の講習会をたくさん持ってほしい。つくば市で女性剪定師養成に成功とか。	現在、緑の市民講座を年4回開催しています。今後、「みどりのサポーター制度」の中で講座の充実を図るよう検討しています。
	2	中央通りに面して住んでいますが、桜並木の手入れ不十分だと思います。肥料は緑色の筒から入れていると市側は言われますが、3、4年見たことなし。	中央通りの桜は、市のシンボルとなっていると認識しており、今後もこのすばらしい景観を残していくため、樹木診断等を行い、適正に管理していきたいと思っております。
	3	緑町1丁目バス停前の、以前は個人宅(※)であった市有地の立木が無残に切れていません。本日は残っている建物にも手をつけた模様ですが…付近住民に何ら説明無し。	東側の樹木剪定については、12月22日(金)に近隣住民に対し説明会を行い、12月中に実施しました。

(※)個人が特定しうる表現については、編集させていただきました。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
防犯	1	中央図書館前の広場の電燈は、明るく必ず毎晩つけてほしい。また、たくさんある子ども広場公園も照明をつけてほしい。	現在、中央図書館前の広場の電灯は、月～木曜日には午後9時まで点灯しています。今後は、他の曜日につきましても午後9時まで点灯するようにします。 また、他の公園につきましても、公園利用者の視認性を確保しながら剪定等の作業を行っており、照明についても、全面改修時には公園灯を増やすなどの対応を行っています。今後も、安全・安心まちづくりを進めていきます。
防災	1	17.9.4の床上、床下浸水(床上48件)以後、本年9月・10月にも保育園前付近で路面で30cm程の雨水・汚水が溢れた。最近の大雨(浸水)に対して、我々が安心して住める防災対策を承りたく思います。〈安心して住めるまちづくり〉	大雨警報発令時や、大雨による被害が発生する恐れのある場合には、市内41ヶ所に設置してある固定系無線の屋外拡声器により、非常放送を行い、浸水対策の注意を呼びかけます。 また、水防支援職員態勢を整備し、休日・夜間・勤務時間外での大雨警報発令時や、大雨による被害が発生するおそれのある場合には、直ちに出勤し道路脇の排水溝点検および清掃や、パトロールによる情報収集などを行います。現在は、過去に浸水のあった地域を中心に、周辺に在住する職員31名による非常時の出勤態勢を整えております。 今後も、突発的・局地的な集中豪雨による浸水被害が発生するおそれがありますので、市民の皆様には、家庭や職場などで自分たちの周囲の危険性を確認するなど、日頃の備えと迅速な行動をとれるような対策をお願いしたいと思います。
市民活動	1	—団塊世代の力を発揮してもらうために—ボランティアセンターむさしのも大変健闘していますが、団塊の世代がリタイアして、地域にその力を発揮していくため、どんなことが考えられるでしょうか？(老人力も含めて)ちなみに私は61歳ですが、ボラとNPOで働いております。	平成16年に武蔵野市内に居住する6300人の団塊世代のうち3000人にアンケート調査を行って、約30%の回答をいただきました。この結果は市のホームページでご覧いただけますが、これによりある程度団塊世代の方の意識・志向が分かります。ここで詳しく述べることはできませんが、武蔵野市に住む団塊の世代、特に男性は70%が給与所得者であることから、「職縁」はあっても「地縁」は皆無であって、「お父さんお帰りなさい」というより「お父さんはじめまして」という方が正しい現状認識と考えます。趣味やスポーツといったサークル活動に参加するというのが団塊世代の地域活動スタイルになると思われます。生涯学習プログラムなどにおいては、一人の個人で完結させてしまうのではなく、少なくともサークル活動という社会性を維持していく仕組みづくりが重要であると思います。市としては、参加の機会をいかに提供するかが課題と考えます。コミュニティや地域社協、防犯・防災などの地域活動に参加している方には、団塊世代への声掛けをぜひお願いしたいと思います。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
市民活動	2	市民団体で同じ事業グループが多くあるが、声をかけると同じ人が集まってくる。もっと多くの人または同じグループに一本化できないのか。	NPO・市民活動団体の活性化のためには、様々なNPO・市民活動団体の「自発性・自主性」や「先駆性・多様性」を尊重することが重要であると考えます。NPOや市民活動団体は、市民の皆さんが自主的に設立し、自立的な活動を展開することが望ましいため、それらの組織を行政が過度にコントロールしたり、ひとつに統合を図ることは好ましくないと思われまます。
	3	コミセン同士のつながりも出てきていますが、コミセンを越えた形に変化していく場合、役所としてはどのように考えますか。	コミセン同士が、それぞれの地域の課題や、広域的な課題の解決に向けて連携していくことは必要だと思えます。例えば現在、市内の東部地区では、外環道路の課題に関して、吉祥寺東、南町、本宿、本町の4コミセンが連携を取って協議会を設立しています。また、井之頭小学校の隣にありました泉幼稚園が廃園になりましたが、その跡地をめぐる、御殿山、吉祥寺西、中央コミセンの3コミセンが連携して、跡地利用を考えております。コミセンのエリアを越えた連携が必要な広域的な課題に対応するために、ネットワーク補助金という制度を設け、必要な経費については一定の補助金を出しております。
	4	こども、小中学生、大人、高齢者がともに使えるコミュニティルーム的場所がほしい。けやきは狭すぎるので。	昭和46年に策定された「コミュニティ構想」に基づいて、子ども、小中学生、大人、高齢者がともに集い、利用できる、さらに地域のまちづくりの拠点となるよう、コミュニティセンターを20館(分館含む)整備してきました。特に、けやきコミセンは、広さや施設、設備など、地域住民の皆様が7年間に渡って話し合いを積み重ねて設計・建設したものですので、有効にご利用いただくようお願いいたします。
	5	「エト」通貨、現行は1年毎のみ有効ですが、将来は通年も視野に入れております。行政共にやるのは、これまで成功例はありません。	現在、地域通貨の取り組みは、けやきコミセンと南町コミセンで行われています。全国的には、行政主導で実施して成功した例が少ないようなので、まず、地域の皆さんに主体的に頑張ってもらい、広めていくような取り組みをお願いしたいと思います。市としても、今後、それらの取り組みに注目し、側面的に支えていくことができないかなど研究を進めたいと考えています。
	生涯学習	1	文化会館の催しについて 高度な専門性の高いものが多い。一般的な民謡・踊り・津軽三味線など多角的なものにしてほしい。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
生涯学習	2	中央図書館書庫の本を閲覧できる日を月2回程度設けていただけませんか。コンピューターで検索するシステムになっていますが、本というものはやはり、手にとって内容をちょっと見てみたいと思うものです。防犯や整理の都合を考えて、希望者の予約制でも構いません。	書庫の利用者への開放につきましては、非常口が1箇所しかないことや、書庫で予約資料の連絡等の個人情報を取り扱う作業も行っているため、今のところ開放する予定はございません。申し訳ございませんが、お申し出いただければ書庫よりお出しいたしますので遠慮なくお申し付けください。

④都市基盤

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ムーバス	1	ムーバス北西循環込むので時間帯により増発を望む(特に朝夕)	本路線の増発については、他の市民からも同様の要望をいただいています。今後、詳細な調査を行い、休日と同じ10分間隔の運行等について検討してまいります。
自転車	1	今後の市の自転車対策を教えてください。特に吉祥寺地区で。	自転車に関しては、駐輪場の設置と暴走自転車対策の2点が課題だと認識しております。吉祥寺駅周辺の駐輪場については、用地の確保に鋭意努めておりますが、なかなか難しいということもありますので、今後は、地下化を含めた重層的な駐輪場のあり方について、検討したいと思っております。 また、暴走自転車に関しては、現在「自転車安全利用促進検討委員会」を設置して、対策を検討しております。
	2	歩道上の駐輪 安全通行のためのスペース確保を！！	道路上、特に歩道上の放置自転車対応にも苦慮しております。今後も、駅周辺については商店会とも協力し、利用しやすい駐輪場の確保に努めるとともに、放置防止指導員等による警告と整理、更には撤去を行い、快適な歩行空間の確保に努めてまいります。
	3	自転車は歩道も車道も走りづらい。自転車が走れる通行帯がほしい。	道路構造やバリアフリーなどに係る法令や基準をクリアする道路については、検討を行ってまいります。
	4	通学時間帯 中央通の自転車に対して、みどりのおばさんを考えてほしい。	交通指導員等の配置と思いますが、現状の把握及び財政面等も考慮し、研究してまいります。
	5	吉祥寺駅付近の自転車置き場が少ない。増設はできないのでしょうか。	ご指摘のとおり、吉祥寺駅周辺では駐輪場が不足しておりますので、今後も引き続き駐輪スペースの確保に努めるとともに、地下化を含めた重層的な駐輪場のあり方についても検討したいと思っております。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	6	休日に吉祥寺に行くと、(100円の)自転車置き場が満杯で入れることができず、困ってしまう。	吉祥寺駅周辺には、公営の一時利用駐輪場のほかに、大型店舗が運営している駐輪場もありますので、そちらもご利用いただきたいと思います。なお、吉祥寺駅周辺の駐輪場は不足しておりますので、市では今後も引き続き、駐輪場用地の確保に努めてまいります。
	7	駐輪場地下化？	駅周辺の駐輪場については、利用できる用地が無いなど確保に苦慮しております。特に吉祥寺駅周辺については、今後も用地の確保等に鋭意努めていきますが、並行して、地下化を含めた重層的な駐輪場のあり方についても、検討したいと思っております。
	8	自転車撤去コスト1台あたり約4000円高すぎ	放置自転車の撤去の費用に関しては、撤去積込・運搬費、保管場所管理運営費など全て考慮すると、このくらいかかります。なお、返還の際には、撤去・保管料として1台につき3,000円徴収しております。
	9	五日市街道歩道上の自転車通行を制限してはどうかと思う。	交通規制については、公安委員会の管轄ではありますが、車道での自転車の重大事故が増加する可能性も大きく、実現は難しいと考えます。
交通	1	今、三鷹駅から吉祥寺までのバスは、1日に9:27、12:59、4:00吉祥寺行き、9:50、1:10、5:00三鷹行きしかないの、よい形で考えていただきたいと思います。	三鷹・吉祥寺間については、平成19年3月末日よりムーバスの運行を予定しています。多くの方のご利用をお願いします。
道路	1	扶桑通りの交通量が多い。主道なのである程度は仕方ないと思います。早く大学の中を何とか早く話し合っって交通を緩和してください。私宅の通りは抜け道で、大きな車が通って不安です。道幅を広げたら、なお多くなりました。	成蹊通りの事業計画については、成蹊学園に地下案を提示し、粘り強く協議を続けていきます。なお、扶桑通りについては、現在「人にやさしいみちづくり事業」として整備を行っておりますが、歩行者の安全を守るためには、歩行者が歩く部分を明確にしていかなければならないと考えています。また、当該道路の交通問題については、成蹊通りも含めた地域全体の交通体系のあり方を検討しながら、対策を進めていきます。
	2	成蹊通りの貫通道路の問題は、かつて関係地域の方々が反対運動をしたと聞いています。関係地域の人たちの意見要望を聞いて、早急に結論を出すのではなく、慎重に対処してほしい。	道路は、ネットワークになってこそ本来の機能が発揮されますが、事業の実施にあたっては、周囲の道路環境に与える影響や事業の必要性について、地域住民の方々とともに検討し、理解を得ながら進める必要があると考えております。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
道路	3	北裏通路 幅が狭い(歩道)。学生の通る数が多い。できれば、五日市道路もバリアフリーを。	
	4	安心・安全・景観重視の町づくり市政理念を持っておられる市長様！北裏道路(NTT～立野町)、特にプール前～立野町間の歩道拡幅も検討ください。歩道に近接する住宅新設、産業交通路に近い車両の量、自転車、歩行者も増え、車イスも今では時々車道に出る必要があります。<70年～88年頃までは、道路沿いに拡幅スペースがありました>。「道路行政の重点順位変更」をご検討くださいませ。	北裏区画道路は、歩道約1.5m×2、車道6mで全体幅約9mの道路です。現状では車道幅を縮めて歩道を広げること、道路法により車道幅が決められておりますので困難な状況です。 現状の歩道を拡幅することは困難ですが、歩道幅内で有効幅を確保するには、宅地内に電柱を移設をお願いするのも一つの方法と考えられます。
	5	五日市街道の歩道の事もありますが、その他の道路でも歩道のあるところも幅も狭く、だいぶ高さもあり、通行にだいぶ苦勞をして、電柱が歩道上にあり、年をとった人にはかなり危ない通行をいたしております。	東京都が管理する道路のうち、五日市街道や女子大通りにつきましては、東京都のすいすいプラン(主要交差点の計画線までの拡幅整備)により、歩行者や交通導線の改良が進められております。 この部分においては電線類の地中化も行う予定です。 市が管理する歩道のある道路は、交通バリアフリー計画に基づき、段差などを解消するため、駅周辺や主要道路を対象に歩きやすい道づくりを進めております。 また、駅周辺を中心として電線類の地中化も順次進めていますが、今後は面的整備も含めて無電柱化ができないかを検討していきます。
	6	道路 建設委員会に陳情しておりますが、東町2丁目の通過車両に対して、抜本的対策をお願いしたい。また、法政跡地グラウンドにも道路ができると思います。練馬・杉並区とも話し合っていたきたいと思います。	現在、吉祥寺東町道路問題懇談会に市も参加しながら、当該地域交通の抜本的対策について、地域住民の方々とともに検討をしています。また、法政グランド跡地計画については、練馬区・杉並区との情報交換を行い、当懇談会等と協議をしております。
	7	「扶桑通りの歩道整備」を早急に要望します！！特に学園側は歩道がないので、自分が歩いているとき／車を運転しているとき、両方とも危ないのが現実。学園の土地所有等の兼ね合いから難しい面もあるかもしれませんが、早急の改善を要望します。	扶桑通りの幅員は約5.5m程度しかなく、歩道の設置は物理的に困難ですが、現在行っている「人にやさしいみちづくり事業」において、カラー舗装による歩行者通行帯の明確化や、車の速度抑止を促すポール(ポラード)の設置などを、地域の方々と相談しながら進めていきます。 なお、道路沿いの成蹊学園敷地に歩道を設置することについては、市からも学園に要望しております。学園側からは、施設配置等の計画もあり現段階では難しいとの回答をいただいておりますが、今後も機会がある毎に、要望していきたいと考えております。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
道路	8	道路改善についての市ができる限界を教えてください。	ご意見の趣旨が分かりかねますが、一般的には道路法に規定された範囲内での道路改善ということになります。たとえば、一般的道路では、車線幅3m+路肩0.5m=3.5mの2車線で車道幅7mが通常ですが、一例として歩道幅が1.5mと狭い北裏区画道路の歩道を広げようとする、現況の車道幅員が6mしかなく、さらに車道を狭めて歩道を拡幅することが物理的に困難な状況です。
上下水道	1	武蔵野市の水道は大変おいしい。	武蔵野市の水道は大変においしいとご好評を頂いています。それは、平均250mの深井戸27本からの水7割が含まれているためです。深井戸の水はそのままでも十分に飲用に適していますが、地下水に多く含まれる鉄分とマンガンを除去し規定の塩素殺菌をして皆様に供給しています。今後も安心しておいしい武蔵野の水をご愛用ください。また、地下水100パーセントを加熱殺菌して、「水好き」ブランドのペットボトルとして販売していますので、こちらもご利用ください。

⑤行・財政

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
税金	1	公約にあった減税に対する進捗状況は？	防災や商業の活性化等に繋がる税の軽減策を検討するため、庁内で委員会を立ち上げ検討しています。平成19年3月までに検討結果をまとめる予定です。
健全な財政運営	1	市の借金いくらあるの？	平成17年度末の市債残高が、一般会計273億1,009万円、特別会計30億5,516万円で、土地開発公社の借入金残高が93億7,840万円です。借入金の返済に、税などの一般財源からどのくらい充てているかの指標である公債費比率は多摩26市中トップ水準にあり、財政の健全性は維持しています。
	2	ほぼ完成された都市基盤を持つ武蔵野市では予算ぶんどり合戦をやめて、税金を節約して予算を残した部・課が良しとする税金の使い方をしてほしい。	現在、予算編成方法につきましては、部ごとに全体の予算額を決定し、その範囲内で部内で課ごとの予算額を決定する一般財源枠配分方式を一部試行しています。また、予算の執行についても不用額は次年度以降に使用できるような仕組みを検討中で、税金などの財源を効率的に配分するように努めています。
	3	特別予算不鮮明。	特別予算は特別会計を指されているかと思いますが、現在、武蔵野市では、下水道事業会計、国民健康保険事業会計、老人保健(医療)会計及び介護保険事業会計の4つの特別会計があります。それぞれ市議会で予算、決算等が審議され、一般会計と同様に市報や年次財務報告書等でも説明いたしております。
効率的な行政運営	1	行財政議員定数の削減。	平成18年12月20日の第4回定例会本会議において市議会議員定数条例の一部を改正する条例が可決され、議員定数は30人から26人に削減されました。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
市民参加	1	出された意見等を長期計画に反映させたいということですが、すぐやる課の決意も示していただきたい。	市民参加による基本構想・長期計画の策定は、本市の守るべき伝統の一つと考えております。 なお、市政に関する日常のお困りごとについては、早急な対応を心掛けてまいります。
	2	タウンミーティング 平均年齢高すぎ！	タウンミーティングは、各コミュニティ協議会と市の共催により、地域の課題や市政全般についての意見交換という形式で実施しています。今後、各コミュニティ協議会とも工夫を重ねていきたいと思いますが、行政だけでなく、地域の活動などに若い人たちを巻き込む工夫を、皆様にもお願いできたらと思います。 市としても、様々な市政の課題について、若い世代の参加の工夫を進めています。例えば、暴走自転車について、どうしたら利用者にマナーを守ってもらえるかを検討するために、委員会を設置していますが、この委員会では、若い方の視点で対策を考えてもらおうということで、高校生や大学生といった世代の方にも委員に入らせていただいております。
歴史資料館	1	歴史資料館を作るなら、中島飛行場地下壕を公開して、戦争の実跡を子ども達に知ってもらったらよい。	歴史資料館については、第四期長期計画で、既存資産の有効活用を念頭に、引き続き施設の構想の検討を進めるとしてあります。現在、市民にも加わっていただき、第四期長期計画の見直しを行っているところですが、歴史資料館の建設につきましても、調整計画策定の中で検討を行っていきます。 また、武蔵野市の史実として空襲があったことについては、授業の中でこれを扱っております。例えば、市内の小学校3、4年生が使用している社会科副読本「わたしたちの武蔵野市」の中では、「戦争中の生活」を取り上げ、当時空襲を受けた中島飛行機の工場の様子を写真入りで説明しています。また、市内の延命寺に展示されている不発弾の処理の様子の写真なども紹介されています。このように、市内の子どもたちに武蔵野市の史実として空襲があったことを語り継ぐことは極めて意義深いことと考えております。
旧中央図書館	1	歴史資料館にしてほしい。地図、書籍、古文書、歴史碑、児童の社会科作成資料、古跡、古道具を展示。 以前、千川上水、玉川上水の展示を文化会館で行ったのは良かった。	市では、旧家所有の古文書・古地図、開村以来の行政資料や公文書を中心とした文書系歴史資料館の建設を旧中央図書館跡地を候補地として検討してきた経緯があり、第四期長期計画では、既存資産の有効活用を念頭に、引き続き施設の構想の検討を進めるとしてあります。現在、市民にも加わっていただき、第四期長期計画の見直しを行っているところですが、歴史資料館の建設につきましても、調整計画策定の中で検討を行っていきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針	
旧中央図書館	2	美術ギャラリーを作ってほしい。ただの平凡な展示にとどまらず、能の衣装展示、染物、切絵、編み物、ハーブ展示、工芸品、陶工など多角的に市民が楽しめるように。	旧中央図書館は耐震上の基準を満たしておらず、一般の方が利用するには相応しくないと考えています。また、同地の利用につきましては、来年度策定する長期計画の調整計画の中で議論すべきものと考えています。	
	3	多目的ホールを作ってほしい。サークル、高齢者のつどい、子どもの遊びに使えるように。		
	4	中学生の居場所を造ってほしい。		
	5	老人者の多くの人が必要とされている針灸、マッサージが保健がきくようになったので、跡地にまとめて老人がいつも使えるようにしたら、どんなに安心なことでしょう。		
	6	シルバーセンターとして利用していただきたい。		
	7	文化会館、保健センター、図書館、社会保険庁などの集結した美しい通りなので、4階建てなどで誰もが入りたくなる美しいビルにしてほしい。		
	8	もう建物は必要ないと思います。雑木林というのはいいいアイデアと思います。		
	9	箱物は勘弁してください。雑木林等が良いかと思います。		
	10	境にある市民会館のような生涯学習の場をこちらの地域にも作ってほしいと思います。コミセンとは違って、0歳から90歳くらいまでも自然な雰囲気勉強できるのがとても心なからです。		
	11	地価の高い武蔵野市でありながら、旧図書館跡地をいつまであのままにしておくのでしょうか？他地区の人々に比べて市民活動の盛んな市民に開放し、1坪ブースずつの拠点作りに活用してほしい。ずーっともったいないなあと思いながら眺めています。		
	12	市民レベルのストックヤードは活動が活発なグループにとってはとても欲しいものです。地下倉庫でも魅力的です。		旧中央図書館は耐震上の基準を満たしておらず、一般の方が利用するには相応しくないと考えています。また、同地の利用につきましては、来年度策定する長期計画の調整計画の中で議論すべきものと考えています。しかしながら、瀬戸物や割り箸のリサイクルについては、環境問題を身近に捉えて行動することで大変有意義なことであると考えております。今後の武蔵野市のリサイクル施設等を検討する市民会議等のなかで検討してまいりたいと考えております。

第 8 回

主役は市民です

市民と市長のタウンミーティング

タウンミーティングは、市民の皆様と市長が同じ目線で地域の課題や市政について意見を交換する会です。

お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください

日時 **平成 18 年 11 月 22 日 (水)**
時間 **午後 6 時 30 分から 9 時**
会場 **けやきコミュニティセンター**
武蔵野市吉祥寺北町 5-6-19
(ムーバス吉祥寺北西循環 31 番「けやきコミセン前」下車)

■ 内容 第一部 わいわいディスカッション (裏面の通り)
第二部 市政全般について話し合い

■ 出席者 市民の皆様 (どなたでも)、 邑上守正市長
けやきコミュニティ協議会、市関連部長

■ 申込 当日直接会場へお越しください

■ 主催 武蔵野市、けやきコミュニティ協議会 (共催)

* お車でのご来場はご遠慮ください

* タウンミーティングは議会開催月(3、6、9、12月)を除く毎月、
年 8 回、市内各コミュニティセンターで開催する予定です。

問い合わせ © 武蔵野市企画政策室市民活動センター
Tel 0422-60-1829 Fax 0422-51-2000

第一部 わいわいディスカッション

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」

まちの主人公はあなたです。ビジョンや発想をお聞かせください。

安心・安全なまちづくり

- ・ 扶桑通りの交通問題
- ・ 五日市街道の歩道問題

ゴミ・環境を考えよう

- ・ ゴミのポイ捨てゼロ
- ・ ゴミの分別

子どもから高齢者まで支えあうまちづくり

- ・ 居場所づくり
- ・ 旧図書館跡地について

.....
当日参加できない方で、市長にご意見・ご要望がある方は、下記の枠内にお書きになり、
けやきコミュニティセンターまでお届けいただくか、ファックスでお送りください。

.....

第8回

市民と市長のタウンミーティング

報 告 書

発行 平成19年1月

武蔵野市企画政策室市民活動センター

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)